

平成27年3月26日  
筑波大学

## グローバル化に向けた入試改革 4技能外部英語検定試験の導入について

### 1 趣旨

平成26年1月、学内関係者を構成員とする入学者選抜方法検討タスクフォースを設置し、入学者選抜方法等に関する4つの課題について検討を行い、入試改革の方向性を取りまとめ公表した。(別添参考資料)

入試改革の方向性のうち、入学試験国際化対応(グローバル化に向けた入試改革)として、4技能外部英語検定試験を本学入試に導入するものである。

なお、これは高校英語教育に対する筑波大学のメッセージと言えるものであり、日本の教育改革を先導する本学の使命と考えます。

### 2 導入手順

社会的影響等を考慮し、推薦入試等に平成30年度入試(平成29年度実施)を目途に導入し、個別学力検査には平成31年度入試(平成30年度実施)を目途に導入することとした。

なお、アドミッションセンターは、4技能外部英語検定試験の導入について検証し改善につなげる役割を果たす予定である。

### 3 実施方式等

実施方式、導入年度(前倒し導入を含む。)等の詳細は、各教育組織において検討中であり、決定しだい本学公式WEBサイトにて公表します。

入学者選抜方法検討タスクフォース主査  
副学長(教育担当) 阿江 通良  
(本件連絡先)  
教育推進部入試課長 高 田  
TEL:029-853-2211

## グローバル化に向けた入試改革 Part II

# 4技能外部英語検定試験導入

- I **推薦入試導入予定【平成30年度入試(29年度実施)を目途】**  
人文・文化学群、社会・国際学群、人間学群、生命環境学群、理工学群、  
情報学群、医学群 ※一部学類除く
- II **個別学力検査導入予定【平成31年度入試(30年度実施)を目途】**  
人文・文化学群、社会・国際学群、人間学群、生命環境学群、理工学群、  
情報学群、医学群、体育専門学群、芸術専門学群 ※全学実施

※ 実施方式及び導入年度(前倒しを含む)は各教育組織で検討中。上記以外の入試(AC入試等)への導入も検討中。決定しだい本学公式WEBサイトにて公表します。

4技能(Listening聞く,Speaking話す,Reading読む,Writing書く)外部英語検定試験導入効果



英検、GTEC-CBT、TOEFL、IELTS、TEAP、  
Cambridge英検、TOEIC 等

筑波大生の一層のグローバル化に寄与

# 筑波大学入試改革の方向性

参考 26.1.30公表

## 全学版アドミッション・ポリシー

「筑波大学は、自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、本学の教育を受けるのに必要な基礎学力を有し、探究心旺盛で積極性・主体性に富む人材を受け入れます。」

1. 学生の自立性涵養につながる入学者選抜の強化
  - 学生の意欲・気概等の自立性につながる資質を評価するAC入試、推薦入試、科学五輪入試、IB入試、帰国生徒入試、私費留学生入試の強化と次のプログラムを実施
    - ◇入学準備・基礎強化プログラム(仮称)
  - 先導的研究者体験プログラム(ARE)の全学的導入

2. 入学試験国際化対応(外部英語検定試験導入を含む)
  - IB特別入試を含むグローバル入試を全学で実施拡充
  - 4技能(L,S,R,W)を問う外部英語検定試験の導入

### 3. 現行入試制度の見直し

- グローバル入試(IB特別入試、帰国生徒入試、外国人留学生入試、SGH指定校入試(仮称))について、入試時期、出願資格緩和等により拡充
- 推薦AC入試定員比率の再考及び新基準導入(附属校、既卒者、編入学者等推薦、大学教員推薦等)
- 学群単位等大括り入試の開発・実施
- 高大院連携プログラム構築

### 4. 入試業務体制の構築

- 次の業務を行うセンターを設置
  - ◇入学準備・基礎強化プログラム(仮称)、◇ARE
- アドミッションセンター機能強化等
  - ◇企画機能充実(入試改革、入学後追跡調査)
- 入試リスクマネジメント体制構築
- 優秀な学生獲得体制の強化◇入試広報、海外リクルート等

世界から多様かつ優秀な学生の受入を実現